

## 2. ラテンアメリカ・リモートセンシング・シンポジウム参加報告書

2000年11月14日

賀来 学

開催地：Puerto Iguazu, Misiones, Argentina

期 間：2000年11月6日～10日

参加国：アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、ウルグアイ、ベネズエラ、ペルー、コスタリカ、パラグアイ、USA、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ノルウェー、カナダ、オランダ

発表 398 件、ポスターセッション 189 件

シンポジウムに参加したのは後半の 9、10 日のみであったが、活発な交流が行われていた。発表件数は 398 件であり、開催国のアルゼンチンが 136 件、次にブラジルがリモセン先進国であることもあり 109 件と多いが、キューバの 30 件には驚かされた。

分野は農業 (25)、地図 (13)、教育 (17)、森林 (39)、地質 (35)、水理 (18)、環境 (58)、海洋 (14)、画像処理 (32)、レーダー (27)、センサー (9)、GIS (33)、土壌 (14)、土地利用 (33)、植生 (31) の 15 分野で、3 部屋に分かれてセッションが行われていた。

発表内容は概ね、判読・区分によるケーススタディと時系列データによる地表(海)面変動のモニタリングに大別され、環境や植生関係の発表の多さから、リモセン技術の利用の方向性が後者であることがうかがえる。また、米国や欧州との共同研究及び援助によりデータ入手が円滑なグループ(ブラジルの INPE を含む)が豊富なデータと経験を基に後者を指向し、データ入手が円滑とはいえないグループが判読・区分による経験を積んでいるという 2 つのレベルのグループが混在していることも示している。

ア国の SEGEMAR は、上記 2 つのレベルの中間段階にあると考えられ、本プロジェクトにおいて ASTER データが豊富に提供されることによって、リモセン技術による新たなテーマ図の作成、地球変動モニタリングへの応用へ指向することが期待できる。

この他、ESA (European Space Agency (フランス))、CONAE (Comision Nacional de Actividades Espaciales (アルゼンチン))、CNES (Centre National d'Etudes Spatiales (フランス))、SPOT IMAGE (フランス)、CCRS (Canada Centre for Remote Sensing (カナダ))、INPE (Institute Nacional de Pesquisas Espaciais (ブラジル)) 等のリモセン機関による最新の動向の講演が行われていた。

以 上

## 第9回ラテンアメリカ・リモートセンシング・シンポジウム参加報告書

2000年11月14日

河野 愛

開催地：イグアス(アルゼンティン)

期 間：11月6日～11月10日（賀来及び河野の参加は9日～10日）

学会参加者数：約300名(事務局談話)

参加国：中南米諸国、米、加、仏、西、伊、ノルウェー、スウェーデン、日本

（アルゼンティンを除くとブラジルからの参加者が多かった。）

口頭発表はデータ処理、GIS、地質、レーダー、環境、教育、森林、地図作製、土地利用、農業、海洋、水資源、センサー、植生の14のセッションに分かれて行われた。ポスターセッションが、それぞれの口頭発表に続いて行われた。さらに、カナダ、フランス、欧州連合、ブラジル等の研究所あるいは企業が独自のセッションを開催していた。

SARの研究では、ここでもインターフェロメトリーが多く、この技術及びデータに対する期待の高いことを示していた。米国及びブラジルの共同研究による、JERS-1 SAR を利用したアマゾン地域の湿地帯の分類を行った発表があった。エコロジーの観点から地球温暖化に対する湿地帯の重要性を指摘し、その現状把握を試みる研究である。JERS-1 SAR の多季節データを用いて、植生分類を行った。その結果、SAR データを用いたこの手法の有効性を確認できた。

日本の衛星データを利用した発表は、唯一上記のもののみであった。それに対し、米国のLANDSAT、ヨーロッパのERS-1,2、カナダのRADARSAT データを利用した発表は、それぞれ二桁の数があった。日本の衛星データが利用されていないのは、宣伝方法とデータ配布システムに問題があるのではないかと思う。

本 JICA プロジェクトの進捗に併せて、積極的に学会発表をすることを考えたい。同時に、アルゼンティン及び周辺諸国の各分野の潜在ユーザーに、ASTER データの有用性を知らしめる機会を作る必要があると感じた。

以上